



# 恵田小新聞

令和4年  
7月7日  
第168号

## 新しく仲間入りした 職員より

### 「恵田小学区は優しい町」

教頭 青山 賢治

恵田小学校は私にとって、憧れの小学校でした。恵田っ子たちはとても元気で親しみやすく、どんな質問にも答えてくれます。ただひとつ、不安がありました。それは農作業です。しかし、地域の方に作業のイロハを教えていただき、少しずつ慣れてきました。学校だけでなく、地域全体が優しい気持ちにさせてくれる恵田小学校のために、全力でどんなことにも頑張りたいと思います。

### 「地域の温かさを感じて」

一年担任 大塚 真悟

恵田小学校では、多くの保護者や地域の方が、田植えや運動会などの行事、授業に関わってくださいっていて、素敵なお知らせと感じました。特に印象に残っているのは、登下校での見守りです。恵田っ子だけでなく、中学生や大人の方まで、「行つてらっしゃい」と声をかけてくれる姿に温かさを感じました。そんな魅力的な恵田小学区で子どもたちと一緒に学べるのが、とても楽しみです。



### 「繋がり」

二年担任 長嶺 景太

恵田小へ赴任して3ヶ月が経ち、私が一番に感じているのは人と人との繋がりで、少人数の学校で、子ども同士の仲が良いだけではなく、学校、地域の方々、保護者の皆様が互いに繋がり、協力して一緒に子どもたちの成長を見守っている事を知り、自分の教員としてのスタートの地がここで良かったと思いました。

これから、たくさんの人と繋がり、子どもたちと共に成長していきます。

### 「驚きの連続」

事務主事 島田 恭輔

「自然豊かな学校だなあ。」最初に思った率直な感想です。ただ、それ以上に驚いたのは恵田っ子の心の距離が近いこと。入学式翌日に初対面の私を遊びに誘ってくれる恵田っ子に「なんて温かい子たちなんだ！」と驚き、学年関係なく仲の良い恵田っ子に驚いています。

驚いてばかりですが、少しでも恵田小に貢献出来ればと思いますので、これからよろしくお願いします。

### 「恵田小へ赴任して」

校務員 窪田 忠司

米河内町から駒立町と山間を抜けて、早2ヶ月が経ちました。最初は、何をすべきか分かりませんでしたが、先生方、地域の方々に教えて頂き、大変有難く思っています。まだまだ覚える事が沢山ありますが、一つ一つ身体で覚えていきたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。

## 田 植 え

### 「田植え」

保護者 山口 秀明

前々から気になっていた田植え。日程変更なく参加できて良かったです。尻もち、転んで汚れる、そんな想像に反し、慣れた手つきで黙々と植える高学年、ゆっくりでも着実に植える低学年。皆しっかりしていて驚きました。私自身、初めての田植え。田んぼに足をいれて、「あーこれか」と感触を感じつつ、子供たちと一列になつての作業。とても楽しかったです。次は稲刈り。楽しみです。



## 運動会

### 「三年ぶりの運動会」

保護者 佐藤 幸恵

延期になった日曜日は天気にも恵まれ、無事三年ぶりの運動会を迎えることができました。堂々と演技をしたり、力一杯走る姿からは、一生懸命練習してきたことが、伝わってくることに、今年のスローガン「恵田っ子の熱い気持ち今燃え上がれ」を感じさせられるものがありました。運動会ができて本当に良かった。感動をありがとう。運動会ってやっぱりいいなと改めて思いました。



## 一学期の生活から



「たのしかったうんどうかい」

一年 しばた ちはな

わたしは、うんどうかいでえたっこりれいにできました。すたあとは、きんちようしました。でも、はしつたら、かぜをかんじて、たのしかったです。

「うんどうかい」

二年 大山 あきと

五月二十二日、うんどう会がありました。ぼくは、え田っ子リレーをがんばりました。けっかは四いだっただけれど、チームのためにいっしょうけんめい走りましました。らい年は一いをとりたいたいです。

「プール大すぎ」

三年 小原 翔太

ぼくの大すぎなプールがはまりました。楽しみにしていたのでともうれしかったです。今は、いきつぎなしのクロールを練習しています。もっと練習してうまくなって、みんなをびっくりさせたいです。

「世界で一つだけのシーサー」

四年 柴田 葉月

六月一日に造形教室でシーサーを作りました。シーサーとは沖縄県の守り神です。わたしは、シーサーがすわってゆっくりにお茶を飲んでいますがたを作りました。むずかしかったけど上手にできました。一年生も上手にできていました。とても楽しかったです。



「岡崎ろう学校との交流で学んだこと」

五年 大山 ひなた

私は、ろう学校との交流を通して、耳が聞こえても聞こえなくても同じということを学びました。低学年のころは耳の聞こえない子って不思議だなと思っていました。でも山の学習で仲間と協力して準備していく中で、聞こえても聞こえなくても同じ人間なんだと実感しました。これからも仲間を大切にしたいです。

「租税教室で学んだこと」

六年 佐藤 叶夢

六年生の社会科で、「国の政治のしくみ」を学習しました。税務署の方から税金のゆくえについて教えていただいたとき、一人一人が税金を払うことで未来の幸せや安心安全な生活を送れることを知りました。みんなで明るい社会を作っていけたらいいなと思いました。

## 交通安全教室

「交通安全教室」

三年 佐藤 勇希

ぼくは、まだ車の通る道を自でん車で走ったことがなかったの、南公園ではじめて走ってみて、こわいと思うことがたくさんありました。左右のかくにんが大事なのは知っていたけど、後ろのかくにんもわすれてはいけないことも知りました。これから自でん車にのる時は、教えてもらったことを思い出して、安全うんでのりたいです。



## 山の学習

「団結」

五年 細井 彩衣那

五年生は、六月二十二・二十三日と山の学習に行ってきました。最初はわくわくと緊張で心の中がいつぱいでした。でも、ろう学校の子が話しかけてくれたり、手をつなぎにきてくれたりしてうれしくなりました。その後も班での活動やキャンドルファイヤーなどをがんばりました。みんなで楽しく真剣に取り組み、「団結」することができました。

「山の学習」

保護者 石川 拓也

六月二十日、山の学習「光の舞」リハーサルが行われました。今回は蛍光ペンライトによるトーチトワリングです。指の皮がめくれる程練習音楽に合わせて描かれる五年生六人六色の虹色の光の舞に感動しました。そして山の学習から帰って来て「楽しかったよ。」と。

二日間みんなで協力したカレー作りやカヌー遊びは、ナツプサックより大きな経験と思い出となった事でしょう。

## 水泳部

「水泳部の決意」

水泳陸上部主将 高橋 遼

ぼくたち水泳部は、できるだけ速く泳ぐことを目標に練習をしています。そのために、手でしっかり水をかくことや、足で水を強くけることを意識しています。

九月三日の水泳大会では、六年生にとって最後の挑戦になるので、最高記録が出せるように、毎日の練習を真剣に取り組んでいきたいです。

